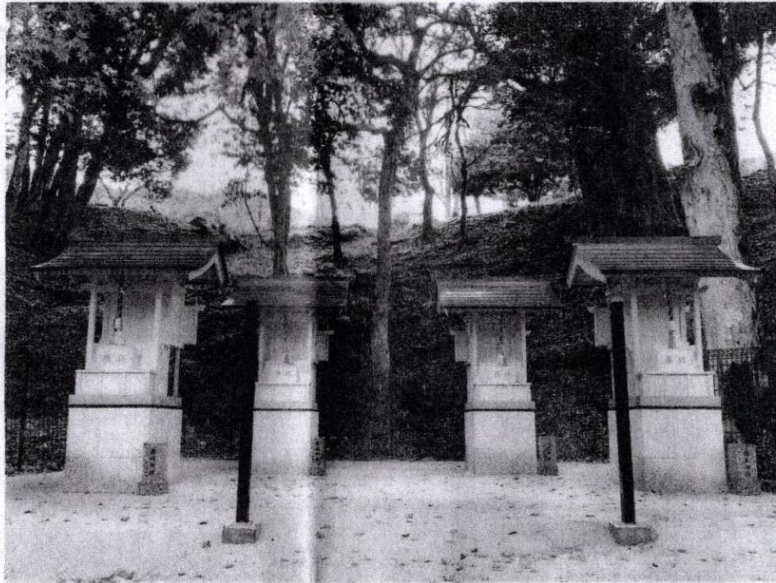




大呂の山中に点在する 4 神社を 1 力所に集める



これまで地区内で点在していた福主、天満、八幡、鹿嶋4神社を1力所に集めて新たな神社を建立した

祠新調して合同神社設け

住民一丸氏子減少、高齢化で対策

福知山市大呂の山中に、住民が氏子の創建600〜700年の神社4社が点在している。人口減少、少子高齢化で、将来は維持管理が難しくなるため、参りやすい1力所にまとめ、さらに祠4つを新たに建てた。22日にそれぞれの御神体を移し、未来へと守り継いでいくための鎮座祭が営まれた。

大呂は市域の北部の山間に位置し、約50戸の約120人が暮らす。全員が地区内にある福主、天満、八幡、鹿嶋4神社いずれかの氏子で、それぞれを先



遷座祭で四方はらいをする絹川宮司(天満神社で)

祖代々守ってきた。しかし、かつては総勢600人ほどいた住民の減少に歯止めがからず、わずか2戸で管理する神社も出てくる。「このままでは途絶えてしまう。各神社総代を先頭に全住民に呼びかけて、4社をまとめる創生プロジェクト実行委員会(実行委員長・加藤喜重朗天満神社総代)を1年前に立ち上げ、協議を重ねてきた。天寧寺境内の一部を借りて整地し、「合同神社」として、4社連名表記の鳥居、それぞれの祠、住民が集える

ベンチなどを置いた。22日は4社でそれぞれ遷座祭をしてから、御神体を合同神社に移す鎮座祭へ。遷座祭は4社宮司の絹川明夫・庵我神社宮司と、応援



合同神社に集まる4社の氏子ら

加藤実行委員長(86)は「天満神社では私より年上の氏子が10人いる。山に登るのはしんどいし、このままでは維持管理ができなくなるといった危機感があった。合同化の話は以前からあったが、なかなか進まず、今回ようやく実現できた」と話す。八幡神社総代で4社筆頭総代も務める加藤晋吾さん(74)は「守

の塩尻均・石田神社宮司「綾部市」が2社ずつ回った。鎮座祭では絹川宮司が4社の名前入りの祝詞を上げ、住民らがお参りをした。

昨年の11月に金浦区にとって、とてもタイムリーな情報を入手しました。今後まさに区で取り組もうとしている合祀の記事が載っていたからです。4社と数も近く、今後の参拝や維持管理に大きな危惧を感じているところも同じです。これは何としても合祀の取組を聞かねば…。その様子を次号で紹介します。

つていきたいという気持ちには、神社の枠を超えてみんな同じ。管理しやすいコンパクト化にも取り組めた。今後はそれぞれの氏子がそれぞれの祠を管理していくことになりまし。これからも大切にしていきたい」と目を細めた。